

口腔機能障害について

昭和大学歯学部第一口腔外科学講座

鈴木規子

口腔の機能は咀嚼機能を含む摂食・嚥下機能、発声・発語機能、呼吸機能があげられる。これらの機能が障害されると摂食・嚥下障害、発声・発語障害、呼吸障害などを生ずるが、歯科医療と密接に関連するのは 1) 食物の取り込み、咀嚼や移送、保持の障害や 2) 構音障害および鼻咽腔閉鎖機能不全 3) 呼気持続の障害などである。これらの口腔機能の障害は口腔疾患に特有の症状を呈するがそれぞれが相互に関連している。歯科の臨床の間ではこれらの障害を総合的に把握し、

患者の治療のプログラムを立案する必要がある。

今回は口腔機能障害のうち摂食・嚥下障害とも密接な関連がある発声・発語機能障害、とくに鼻咽腔閉鎖機能不全および構音障害についても紹介した。また歯科医が理解しておくべき頭頸部の解剖を含めた正常な口腔機能について概説するとともに、先天異常（主として口蓋裂）や中枢性疾患、腫瘍の術後などの疾患による障害の症例を中心に供覧した。